



つすの模方にな実執きは  
た。だ索法すく際しるつS  
方少とすがる、そてかいD  
がし私るあこーこしどつG  
いではこると人はまういs  
らも思とのなもあいか目カ  
つそつにでく置まがと標し  
しので意は幸いりちいクド  
やよお味なせて重でうリゲ  
つうりがいにけ要す点アし  
たにまあかなぼでがにがム  
の思るとるりは、固でで

たでつかSなよ精いれといSしでそ有よよ理Sた  
。運かをDい、一いとなし日Dよいうりうう解u皆例  
営けまGかと杯のはいてはGうたいでかりしs様会  
さにずsといで？言も知なsかだつの。は、t、に  
せなはが思うそ仕えのらいは。けた例今いS a 十ご  
てれ知どい方ん事、でなほいと意会回かD i 一参  
いばつうまもなをなすいどまの味とはがG n 月加  
たとていす多余こに。ででやはもう々つをb 常さ  
だいもつ。い裕なをは、耳はな楽このた体l 例い  
きうらた今のなすすす経にいしと会で験e 会ま  
ま思うも回でいのれま営しいしと会で験e 会ま  
しいきのははにばさ者なでんで食ししをし

た。運かをDい、一いとなし日Dよいうりうう解u皆例  
営けまGかと杯のはいてはGうたいでかりしs様会  
さにずsといで？言も知なsかだつの。は、t、に  
せなはが思うそ仕えのらいは。けた例今いS a 十ご  
てれ知どい方ん事、でなほいと意会回かD i 一参  
いばつうまもなをなすいどまの味とはがG n 月加  
たとていす多余こに。ででやはもう々つをb 常さ  
だいもつ。い裕なをは、耳はな楽このた体l 例い  
きうらた今のなすすす経にいしと会で験e 会ま  
ま思うも回でいのれま営しいしと会で験e 会ま  
しいきのははにばさ者なでんで食ししをし

経十  
営一  
研月  
究例  
部会  
会開  
部催  
部長  
佐藤  
報告  
洋輔



いけの経まそす下社いなもフくS間と話皆  
まで人営すしか請員ま意平エそDは広を、経  
すみ問者かて？けをす味等アうG皆いよ家  
。てとで？、会大。でなトs、意く族者  
いしあ家社事大対レのの家味聞の  
たてる族をに事働しと一族できと方  
だ自前を大しなをドリ番考まいか  
け分に、大事にこく「なえすうら  
れに、事にしまは生み貧われば、う社  
ば問ひにしてかどる者あをす。人つおは  
い思かりてま？思んになるな。人つおは

たうと話ましに族した限で  
。形思をわた召やトフまりあ  
にいすりかし社でエたでれ  
さ、るの？上員すア、すば  
せ今き方が、がト御。私  
て回つにつ友、レ土とし  
いはかSて人例し産して  
た御けDいな会ドでお  
だ土にGたど後チおは  
き産なsだとにヨ渡嬉  
まとれのけ一ごコし  
しいばおま緒家レしい

と後多 深るえ部形がを  
な藤く何めこば員と、一反  
っがのにと、全な振番省  
た成学し事が一員りり理す  
。長びてがで人で、返解る  
すがも出き一手負りし点  
るあ例来、人分担をても  
貴り会たよがけに一一あ  
重、運とり役をな人るる  
なり営思理割しつで部。  
機トはう解をてた行長内  
会ル、。を得行。う容

いいたなレあた皆立い部例て会す覚た藤準す身く  
。は。ししつ。様体た会会入のり悟。に備るに脈強  
努あたヤた例と的為もと会開アを「聞は。行をい  
力の佐し。会のな、オなか会ル決行いど大き打鼓  
な講藤と部に例本Cンつらで後めけてうき渡つ動  
く師部し員は会物Oラた、あ藤司とみだくり。に  
しの長てを様にの2イ。初る。会「る？深細熱あ  
て様はもま々胸人をン今め。そ台そ、と呼胞いわ  
はな圧完となが間排でまで私うにの彼り吸が血せ  
で振巻壁め学躍で出行での対歩言はトを活液て  
きるだに、びつあしつは対と面み葉言ルし性が激  
な舞つこプが。る、て、面つ例出でつ後、化全し

十一  
月  
例  
会  
を  
運  
営  
し  
て  
隆  
博